

彼らの心を開いて

ルカの福音書 24章 44-49節

はじめに

今日は、イエス様の復活を記念する「イースター」です。イエス様は二千年前、十字架で処刑され、墓に葬られた後、三日目に死からよみがえられました。イエス様は、週の初めの日の早朝に復活されました。そしてその日の夜に、弟子たちの前に現れ、御自身の復活のからだを見せられ、共に食事をされました。

今日の聖書箇所は、その食事の席で、イエス様が弟子たちに語られた言葉が書かれています。つまりイエス様が復活し、天に昇られるまでの間に、弟子たちに語られた最後のメッセージとも言えます。イエス様は最後に、弟子たちにどのようなメッセージを語られるのでしょうか。

1. イエスと聖書

44節を見てみましょう。「**そしてイエスは言われた。『わたしがまだあなたがたと一緒にいたころ、あなたがたに話したことばはこうです。わたしについて、モーセの律法と預言者たちの書と詩篇に書いてあることは、すべて成就しなければなりません』。**

「モーセの律法と預言者たちの書と詩篇」というのは、旧約聖書のことです。イエス様は十字架で死なれる前から、弟子たちに対して旧約聖書を用いて、御自身について教えてもらいました。旧約聖書は、イエス様について書かれていること、そして旧約聖書の中でイエス様について書かれていることは、すべて実現すると教えてもらわれたのです。

では、旧約聖書がイエス様について書いていることとは、何でしょうか。それは、46-47節にあるように、「**『キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、あらゆる国の人々に宣べ伝えられる』**」というものです。つまり、イエス様の十字架と復活、そして福音が全世界に宣べ伝えられるということです。旧約聖書は、イエス様について書かれている書物です。イエス様は、旧約聖書を通して、御自分のことを弟子たちに教えてもらいました。キリスト教は、旧約聖書を、イエス様を通して解釈します。つまり旧約聖書を、イエス様を指し示す書物と考えます。そして新約聖書を、イエス様が成された御業とその弟子たちの働きが記録された書物と考えます。旧約聖書は、イエス様の十字架と復活、そして福音が全世界に宣べ伝えられるということを預言した書物です。そして新約聖書は、その預言が実現した記録が記された書物と言えます。このことから言えることは、旧約聖書と新約聖書の一貫したテーマは、イエス様の十字架と復活、そして全世界への福音の宣教であるということです。私たちは、この

中心的テーマのもとに、旧約聖書を読み、新約聖書を読んでいくことが大切なのです。これがキリスト教の聖書の読み方なのです。

2. 心を開いて

しかし弟子たちはこれまで、このことが理解できませんでした。イエス様から何度も、旧約聖書を用いて、イエス様は十字架で死なれること、三日目によみがえることを教えられてきました。しかし彼らは何一つ理解できなかったのです。それゆえ、イエス様が十字架で死なれた時にも、絶望してしまったのです。三日目によみがえることを忘れてしまっていたからです。

45 節を見てみましょう。「**それからイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて**」。聖書は、心を開いて読まなければ悟ることはできないのです。聖書は、心を閉ざしながら読んでも理解することができないのです。つまりイエス様に対する信仰と愛をもって読まなければ、決して理解することができないのです。どんなに頭が良くても、心が開かれていなければ、決して理解することができないのです。

しかし問題は、私たちは自分の力で心を開くことができないことです。私たち人間は、アダムとエバが神様の命令に背いて禁断の木の実を食べた時から、罪の性質を持っています。そして靈的に死んでいて、自分からイエス様を求めるのも、心を開くこともできなくなっているのです。生まれながらの私たちの心は頑なで、イエス様に対して硬く心を開ざしているのです。

しかしいエス様が私たちの心を開いてくださる時、私たちは聖書を悟ることができるようになるのです。逆に言えば、イエス様に心を開いてもらわなければ、誰ひとり聖書を理解することができないと言えます。

使徒パウロがピリピの町で伝道している時、リディアという神を敬う紫布の商人がいました。すると、「**主は彼女の心を開いて、パウロの語ることに心を留めるようにされた**」(使徒 16:14)とあります。その結果、リディアはイエス様を信じ、彼女と彼女の家族は洗礼を受けることになるのです。リディアがイエス様を信じ、洗礼を受けたのは、決してパウロが雄弁であったからではなく、イエス様が彼女の心を開いてくださったからです。

私たちがもし、イエス様を信じているのだとしたら、それはイエス様が私たちの心を開いてくださったからに他ありません。私たちはイエス様を見たことがありません。しかしその方を神と信じ、救い主と信じることができるのは、決して人間の理性によるものではありません。私たちは、イエス様によって心を開いてもらったからこそ、聖書を理解し、イエス様を信じることができますようにされたのです。

ですから私たちは、礼拝の説教の前には、私たちの心が開かれるように祈ります。聖書の言葉は、イエス様に心を開いてもらわなければ、決して神の言葉として受け入れることができないからです。また私たちは、自分ひとりで聖書を読む時も、イエス様が心を開いてくださるように祈ることが大切です。そうであってこそ、私たちは聖書を正しく理解で

きるからです。

また私たちは、誰かの救いを祈っていることもあるでしょう。今は、聖書に対して、教会に対して、キリスト教に対して、全く頑なであることもあるでしょう。しかし、イエス様が心を開いてくださる時、人は聖書を、またイエス様を信じることができるようにされるのです。私たちは、諦めずに祈ることが大切です。イエス様が、その人の心を開いてくださるように、イエス様がその人の石のように硬い心を、柔らかくしてくださるように。

聖書を理解し、イエス様を信じることは、決して人間の力によるものではありません。それは、イエス様の御業なのです。私たちは、イエス様の御業を待ち望み、忍耐して諦めずに、信じて祈り続けたいものです。

3. 証人となる

47b-49 節を見てみましょう。「エルサレムから開始して、あなたがたは、これらのことの証人となります。見よ。わたしは、わたしの父が約束されたものをあなたがたに送ります。あなたがたはいと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい」。

弟子たちは、旧約聖書に書かれていた通り、イエス様が十字架で死に、三日目によみがえられたことの証人とされました。イエス様の十字架の死を見た人は多くいましたが、イエス様の復活を見たのは弟子たちだけです。この弟子たちというのは、十二弟子だけでなく、コリント 15 章を見ると、イエス様は五百人以上の弟子たちに、復活された姿を現わされたとあります。弟子たちが、イエス様の証人となるのは、特にイエス様の復活の証人なのです。

弟子たちは、イエス様の復活の証人として、47 節にあるように「その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めを、あらゆる国の人々に宣べ伝える」使命を与えられるのです。「罪の赦しを得させる悔い改め」とありますが、「罪の赦しを得させる悔い改め」は最初、バプテスマのヨハネによって宣べ伝えられました。しかし、イエス様が十字架で死に、復活されたことによって、「イエス様の名によって」また「あらゆる国の人々に」「罪の赦しを得させる悔い改め」が宣べ伝えられることになったのです。バプテスマのヨハネの時は、ユダヤ人に限定されていました。しかしいエス様の十字架と復活後は、「あらゆる国の人々に」「罪の赦しを得させる悔い改め」が宣べ伝えられるようになったのです。

私たち人間は、生まれながらに罪を持っています。罪とは、神様の律法を守らないことであり、その中心は神様を愛さないこと、隣人を愛さないことです。そしてその本質は、自己中心にあります。罪は、神様の前に裁かれなければなりません。この世においても、死後においてもです。私たちは誰でも、神様の前に罪を赦されなければ、裁きを受けなければなりません。

では、どうしたら私たちの罪は赦されるのでしょうか。それは、イエス様の御名を信じること、そして悔い改めることです。イエス様の御名を信じることというのは、イエス様を神と信じ、私たちの罪のためにイエス様が十字架で死に復活されたことを信じることで

す。そして悔い改めることというのは、明確な方向転換をすることです。今まで自己中心の生き方から、神中心の生き方へと明確に方向転換することです。また今まで自分の欲望に従って生きてきた生き方から、神様に従う生き方へと明確に方向転換することです。そのように固く決心することです。イエス様を信じ、悔い改めること、それが、私たちの罪が赦される唯一の道です。

イエス様の復活を見た弟子たちは、この福音を全世界に宣べ伝える使命をイエス様に与えられたのです。しかし弟子たちは、自分たちの力だけでこの使命を果たすことはできません。イエス様は弟子たちに、「わたしの父が約束されたものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい」と言われます。「父が約束されたもの」とは、聖霊のことです。ヨハネの福音書で、聖霊は「助け主」と呼ばれます（ヨハネ 14：16、26）。弟子たちは、聖霊の力に助けられて、イエス様の復活の証人として、福音を全世界に宣べ伝える使命を与えられたのです。

弟子たちは、ペンテコステの日に聖霊が与えられるまで、エルサレムで待たなければなりませんでした。使徒の働きを見ると、その間、弟子たちは心を一つにして集まり、祈っていたとあります。彼らは、イエス様の復活の証人として全世界に福音を宣べ伝えるまで、祈って備えていたのです。また聖霊の力が与えられるまで、心を一つにして祈っていたのです。

イエス様は、「わたしについて、モーセの律法と預言者たちの書と詩篇に書いてあることは、すべて成就しなければなりません」と言されました。つまりイエス様について、旧約聖書に書かれていることは、すべて実現するということです。イエス様について旧約聖書に書かれていることは、イエス様の十字架と復活、そして福音が全世界に宣べ伝えられることです。私たちは、新約聖書を通して、イエス様の十字架と復活が実現したこと、福音が全世界に宣べ伝えられることが実現したことを見ることができます。旧約聖書は、イエス様の十字架と復活、そして福音が全世界に宣べ伝えられることを預言し、新約聖書は、イエス様の十字架と復活、そして福音が全世界に宣べ伝えられることが実現したことが書かれているのです。

おわりに

私たちは、イエス様の十字架と復活、そして福音が全世界に宣べ伝えられるべきことを旧約聖書と新約聖書を通して知ることができます。私たちは、イエス様の十字架と復活を見たことはありません。あくまでも聖書を通して、それを信じたに過ぎません。しかしそれは、復活されたイエス様が私たちの内に働き、私たちの心を開いてくださったから、信じることができたのです。私たちも、復活のイエス様の御業に触れられた者たちです。その意味で、私たちもイエス様の証人となることができます。私たちも、聖霊の力を与えられるすることができます。私たちも、聖霊に助けられて、イエス様の証人として生きていきましょう。そのために心を一つにして聖霊の力と人々の救いを求めて祈っていきましょう。

天におられる私たちの父なる神様。

このイースターの朝、イエス様の復活を心より感謝します。イエス様が十字架で死なれたままであつたら、私たちには絶望しかありませんでした。イエス様の復活こそ、私たちの希望です。イエス様こそ神であり、私たちの贖いが完成したことの何よりの証拠です。

私たちは、信仰において、イエス様が復活されたことを信じております。私たちも、信仰において、あなたの証人とさせてください。世界には、また私たちの身近な人々も、まだあなたの福音を知らず、心が開かれていません。どうか私たちに聖霊の力を与え、人々の心を主が開いてくださいますように。私たちも、祈りつつ、あなたの約束を待つことができますように。

この祈りを私たちの救い主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。